

モノレール点検結果（速報）



平成29年3月

那覇市役所

建設管理部 道路管理課



1. モノレール点検結果(速報)

沖縄都市モノレールは、平成 15 年に開業して以来、定時・定速の公共交通機関として、県民や観光客に利用され、まちづくりの推進や交通渋滞緩和に大きな効果を発揮しています。沖縄都市モノレールインフラ構造物(以下より「インフラ構造物」と記す)の場合、修繕等の維持管理作業にあたっては、き電停止や沿道の交通規制、夜間作業が基本となるなど、各種制約条件が厳しく、コストが比較的大きくなることが懸念されます。

今後の経年劣化に伴って増大が見込まれる、インフラ構造物の維持管理費用(点検・修繕等)に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠であり、より計画的なインフラ構造物の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に維持していくための取り組みのもと、平成 28 年度からモノレール点検を実施しています。

点検方法としては、部材の状態を評価するため近接目視にて行い、その結果として、健全性を 4 段階に区分して診断しています。

モノレール橋脚 93 基のうち 8 基の点検が完了しており、また、モノレール軌道桁 94 支間のうち 5 支間が完了しましたので、その結果を公表します。未点検のインフラ構造物につきましても、点検が完了しましたら公表する予定です。

【長寿命化修繕計画】

本市では、モノレールの修繕等のコスト縮減と施設の長寿命化に加えて、従来の対処療法型から、予防保全型(損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う)への転換を目的に平成 23 年度に長寿命化修繕計画を策定して修繕を実施しています。

長寿命化修繕計画の運用に際しては、定期的な点検の実施、点検結果に基づく長寿命化修繕計画の見直しを行い、PDCA サイクルを実践することが重要です。

全ての点検が終了したら、長寿命化修繕計画の見直しを予定しています。

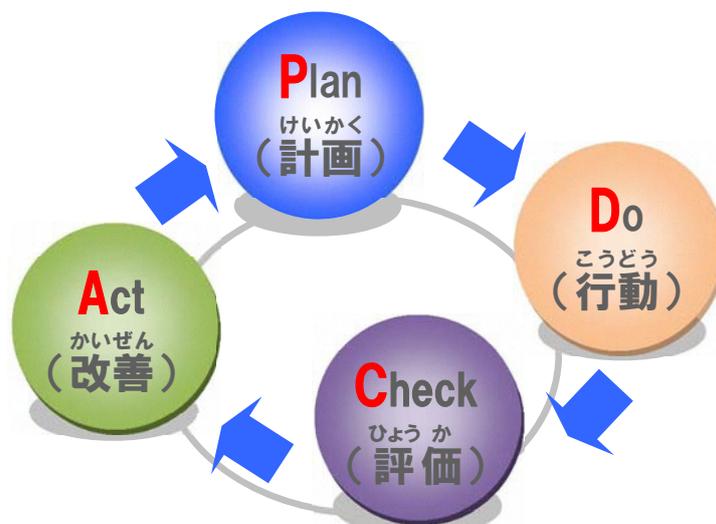


図 1-1 PDCA サイクルのイメージ

2. 橋梁定期点検の結果

表 2-1 点検結果一覧(支柱)

| 番号 | 路線名称 | 支柱 | 構造形式 | 健全度 | 備考 |
|----|-------|------|------|-----|----------------|
| 1 | 泉崎牧志線 | P262 | 鋼支柱 | Ⅲ | 早期に修繕等対策が必要である |
| 2 | 泉崎牧志線 | P263 | 鋼支柱 | Ⅱ | |
| 6 | 泉崎牧志線 | P267 | 鋼支柱 | Ⅲ | 早期に修繕等対策が必要である |
| 37 | 泉崎牧志線 | P298 | 鋼支柱 | Ⅲ | 早期に修繕等対策が必要である |
| 62 | 泉崎牧志線 | P323 | 鋼支柱 | Ⅱ | |
| 70 | 牧志23号 | P331 | 鋼支柱 | Ⅱ | |
| 71 | 牧志23号 | P332 | 鋼支柱 | Ⅱ | |
| 80 | 牧志23号 | P341 | 鋼支柱 | Ⅲ | 早期に修繕等対策が必要である |

| 区分 | | 定義 |
|-----|--------|--|
| I | 健全 | インフラ構造物の機能に支障が生じていない状態。 |
| II | 予防保全段階 | インフラ構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。 |
| III | 早期措置段階 | インフラ構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。 |
| IV | 緊急措置段階 | インフラ構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。 |

表 2-2 点検結果一覧(軌道桁)

| 番号 | 路線名称 | 支柱 | 軌道桁 | 構造形式 | 健全度 (支間単位) | 備考 |
|----|-------|---------------|-----|------|---------------|----|
| 1 | 泉崎牧志線 | P261 ※国道管理 | 鋼桁① | 鋼軌道桁 | Ⅱ | |
| 2 | 泉崎牧志線 | P262 | 鋼桁① | 鋼軌道桁 | Ⅱ | |
| 3 | 泉崎牧志線 | P263 | 鋼桁① | 鋼軌道桁 | Ⅱ | |
| 7 | 泉崎牧志線 | P267 | 鋼桁② | 鋼軌道桁 | Ⅱ | |
| 14 | 泉崎牧志線 | P274 | 鋼桁③ | 鋼軌道桁 | Ⅱ | |